



### 着物リメイクファッションショーをアイーナ復興バザーと同時開催



被災地支援を目的に毎年アイーナ県民プラザを会場に復興バザーが開催されます。バザーの売り上げは被災地への義援金として寄付されます。今年も10月18日秋晴れの日曜日に開かれました。環境パートナーシップいわてでは、復興バザーに合わせて着物リメイクファッションショーをアイーナスタジオで開催しました。ファッションショーは今年で3回目、小赤澤直子理事が被災地で着物リメイクの指導にあたっています。

環境パートナーシップいわてでは「着物リメイク支援プロジェクト」を被災地支援の自主事業に位置づけ、被災地の皆さんを応援し元気づけるために実施しています。

今年も、陸前高田市から14名、大槌町から20名、被災地を応援する一関市千厩地区から4名の“モデル”さんがアイーナを訪れ、自分たちでリメイクした洋服をご披露しました。

ファッションショーも3回目となると作られた洋服の完成度もグレードアップ！“モデル”さんの足どりも一層軽やか。会場のランウェイをポーズを決めて歩きました。“モデル”さんも観客も、素敵なファッションショーをぞんぶんに楽しみました。



素敵なポーズも決まって good !



モデルさんの足どりも軽やか・歓声に包まれる



## 「てんぷら油が農業で使われるまで」BDF エコツアーを開催

てんぷら油を回収しディーゼルエンジン車の燃料や発電用燃料として再利用する BDF (バイオディーゼルフューエル) は CO<sub>2</sub> を増加させない資源として注目されています。震災により失われた被災地の BDF 精製所を再興させるため、環境パートナーシップいわてでは「廃食油の資源化活動を通じて三陸の復興及び豊かで持続性のある地域社会をめざすプロジェクト」に取り組んでいます。大船渡地区での廃食油の回収が 11 月 2 日から始まるのに先立ち、大船渡市民を対象に廃食油がどのように再生され、どう使われているのかを見学する BDF エコツアーを 10 月 7 日に開催しました。



石上の園 BDF 精製所の説明



BDF を燃料に快走するコンバイン(上)

コンバインの排気ガスが天ぷらの臭いであることを確認(下)

エコツアーには大船渡市民 13 名が参加しました。BDF を製造する遠野市綾織にある福祉施設社会福祉法人睦会「石上の園」で回収されたてんぷら油が精製される様子を見学した後、実際に農業機械で BDF を使用する江刺の有限会社ピースを訪れました。

ピースではフォークリフト、コンバイン、トラクターなど 17 台もの農業機械、土木機械、発電機などで BDF が使われています。参加者は排ガスの天ぷら油の臭いを確認したり、農業機械のスムーズな動きに見入りました。

特定非営利活動法人環境パートナーシップいわてでは自主事業として「着物リメイク支援プロジェクト」、「緑のカーテンプロジェクトいわて」、「アイーナ夜学」、「夢灯りキャンドルナイト」などを自主事業とし、会員の皆さまからの会費ならびに寄付金で運営しています。これらの事業継続のためご寄付にぜひともご協力下さいますようお願い申し上げます。

ニューズレター 第 24 号 発行：環境パートナーシップいわて MG 委員会 TEL 019-681-1904